

## 環境教育・環境学習について

### 環境教育・環境学習とは何だろう？

一言で言えば、『持続可能な社会』の実現のため、「体験を通じて、自ら考え、調べ、学び、そして行動する」というプロセスを重視した教育・学習ではないだろうか。

気候変動（地球温暖化）や熱帯雨林の消滅、オゾン層の破壊など、地球規模の様々な環境問題が生じている現代に生きる私たちは、こうした問題にどう向き合えばいいのか？ また、私たちの沖縄でも、どのような状態で海や山といった貴重な自然を未来の世代に渡していくのか？

環境教育の出発点は、今の私たちの「在りよう」に気づくことではないだろうか。今あることや今あるものの中にはいいこともあるだろうし、これは困ったということもあるだろう。このような「在りよう」を知ることから、身近な地域のことを知ることから環境教育を始めたい。またそのことから、地球規模の問題を考えていきたい。「急がば回れ」「急がばまず地域から」

#### 環境教育のポイント

- 1 総合的であること
- 2 目的を明確にすること
- 3 体験を重視した教育・学習であること
- 4 地域に根ざし、地域から広がるものであること



体験を通じて自ら考え、  
調べ、学び、行動する

Think Globally Act Locally（地球規模で考え、地域から行動しよう！）

## プログラムの目的

### コンセプト

本県の豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するためには、環境教育を学校教育現場で取り入れ、実践することが重要とされており、地域の環境特性や児童・生徒の発達に応じた環境教育プログラムを作成し、教員など指導者の活用に応じる必要がある。

このため、平成15年度に小学校編、平成16年度には中学校編の環境教育プログラムを作成し、平成17年度には高等学校・環境団体編を作成するに至った。近年、各種環境団体が実施する環境保全活動が活発化しており、今後、地域に根ざした環境教育を展開するにあたって行政、学校、環境団体間の連携が期待できることから、環境団体にも活用できるようなプログラムとした。以下にコンセプトを示す。

- 1 高校生や環境団体などが自主的に使える
- 2 楽しみながら取り組むことができる
- 3 身近なことから体験を通して気づく
- 4 地域や環境団体などとの連携を視野に入れる
- 5 総合的である
- 6 多面的な考えでとらえる（メリット、デメリットの両面から考える）

### 冊子を作るにあたって

環境教育・環境学習の重要性が認識されてから久しい。しかしこの間、学校教育現場で環境教育が定着したかという点、必ずしもそうではない。

そこで、少しでも学校現場で使える環境教育プログラムの作成を目指した。そのために考慮したことは、できる限り身近な素材を取り上げる、課外活動や総合的な学習の時間でも取り上げることができる、環境教育を実践しているグループや団体の情報も取り入れるなどである。

この環境教育プログラムが学校現場や地域で使われ、環境教育の普及に少しでも貢献できればと思う。実際に活用してみて、感想や改善点などがあれば、沖縄県文化環境部環境政策課までぜひお寄せいただきたい（「報告をお願いします」【p7-20】参照）。また、活用にあたって不明な点や質問事項など、お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

## プログラム 目次

1 はじめに	
(1) 環境教育・環境学習について	1
(2) プログラムの目的	1
(3) プログラムの活用方法	6
(4) プログラムの構成	8
(5) 教科別対応表	9
(6) 教科別索引	10
2 環境教育プログラムアクティビティ	
(1) 地球環境保全	
1) カレーをつくろう！～キッチンから考える地球環境保全～	1-1
アクティビティ・フロー	1-2
① カレーをつくろう！	1-3
② フード・マイレージって何だろう？	1-4
③ チラシ探検団～食材の産地をたどる～	1-5
④ 意外とあるある外国産～食料自給率を考える～	1-6
⑤ 自分なりの買い物スタイルは…？	1-7
⑥ 器物の一生について	1-8
⑦ 私が考えるエコロジークッキング	1-9
課題発見・参考事例	1-10
2) ～地球環境を把握する～空気を調べよう！	1-11
アクティビティ・フロー	1-12
① 車と大気汚染の関係～自然の中に見る大気汚染の実態～	1-13
② 私が観測員。私たちの街の大気汚染状況観測	1-14
③ 大気汚染地図を作ろう！	1-15
④ 私たちの生活と車	1-16
⑤ 空気をきれいにして健康に暮らすには？	1-17
⑥ 大気汚染物質と被害	1-18
⑦ オゾンホールとは？	1-19
課題発見・参考事例	1-20
3) 学校版環境 ISO にチャレンジしよう！	1-21
アクティビティ・フロー	1-22
① 温暖化が起こると私たちの住む町はどうなる？	1-23
② 温暖化が起こると私たちの生活はどうなる？	1-24
③ ISOとは？	1-25
④ ISOをスタートさせよう！	1-26



⑥ 環境家計簿を作成しよう！	1-27
⑥ ISOデータの解析・効果の検証	1-28
⑦ 活動の精（和）を広げよう！	1-29
課題発展・参考事例	1-30
<b>(2) 水質保全</b>	
4) 沖縄の川が、海が溢れている！～流域環境と生活排水・赤土流出～	2-1
アクティビティ・フロー	2-2
① 汚れているのは私たち…？～身近な排水の実態～	2-3
② 河川の汚れとは？～BODについて～	2-4
③ 排水のゆくえ	2-5
④ 考えよう！汚染の影響と対策	2-6
⑤ なぜ？沖縄の海が赤く染まる理由と影響	2-7
⑥ 赤土流出の発生源はどこ？	2-8
⑦ 赤土流出防止の問題点と沖縄の海のこれから	2-9
課題発展・参考事例	2-10
5) 私たちが案内する湧水・井泉めぐりツアー	2-11
アクティビティ・フロー	2-12
① 湧水・井泉めぐりツアーを企画しよう！	2-13
② なぜ水が濁くの？	2-14
③ 調べよう！水・湧水・井泉にまつわること	2-15
④ 現地に行って調べよう！	2-16
⑤ ツアーの準備をしよう！	2-17
⑥ ツアー開催。そしてツアーを終えて	2-18
⑦ 考えよう！これからの水利用のあり方	2-19
課題発展・参考事例	2-20
<b>(3) 自然保護</b>	
6) 小さな島の生きもの会議～やんばるの森で～	3-1
アクティビティ・フロー	3-2
① 生きもの会議を始める前に…	3-3
② 生きもの会議で意見を主張しよう！	3-4
③ 沖縄の生きものの現状は？	3-5
④ 在来種、外来種	3-6
⑤ やんばるの森の生きもの探検	3-7
⑥ 生態環境情報表の作成	3-8
⑦ 頂点に立つのは誰？生態系ピラミッドの作成	3-9
課題発展・参考事例	3-10

7) 沖縄はサンゴの島 サンゴ～身近で不思議な生きもの～	3-11
アクティビティ・フロー	3-12
① 陸上に見るサンゴの痕跡	3-13
② 調べよう！サンゴ礁と私たちの生活との関わり	3-14
③ 沖縄のサンゴ礁と世界のサンゴ礁	3-15
④ 多様性—サンゴ礁の生きもの	3-16
⑤ サンゴ礁に襲いかかる問題	3-17
⑥ サンゴ礁やイノー（礁池）の今と昔	3-18
⑦ もしも沖縄からサンゴが消えたら？	3-19
課題発展・参考事例	3-20
<b>(4) 廃棄物対策</b>	
8) 地域クリーンアップ作戦～沖縄県 高校生グリーンデーを企画しよう！	4-1
アクティビティ・フロー	4-2
① グリーンデー実行委員会を立ち上げよう！	4-3
② どんな企画をしようか？	4-4
③ 現状はどうなっている？	4-5
④ グリーンデー当日	4-6
⑤ ごみの実態をチェックしよう！	4-7
⑥ 考えよう！私たちの街 私たちの海岸	4-8
⑦ 「こんなにきれいになりました」報告会	4-9
課題発展・参考事例	4-10
9) やってみよう！エコロジー学園祭	4-11
アクティビティ・フロー	4-12
① エコロジー学園祭を企画しよう！	4-13
② 「環境」をテーマに企画を練ろう！	4-14
③ どうする？ 学園祭のごみの予測と対策	4-15
④ 実践！ エコロジー学園祭	4-16
⑤ 学園祭を終えて…評価と反省と結果報告	4-17
⑥ なぜ増える？ どうしたら減る？ 私たちのごみ	4-18
⑦ ごみ減量実行計画	4-19
課題発展・参考事例	4-20
<b>(5) 自由な発想で環境を研究</b>	
10) みんなで研究—私たちが抱える環境問題	5-1
研究の進め方	5-2
情報発信・成果発表の方法	5-3
① 新聞を活用して情報発信を！	5-4
② 基地と環境問題	5-5



③ 沖縄の自然と文化	5-6
④ 開発と自然の共存	5-7
⑤ オシャレでシンプルな暮らしを実践しよう！	5-8
⑥ ウェビングを通して環境について考えよう！	5-9
<b>3 タウンページ</b>	
① 三つの公平	6-1
② 持続可能な社会	6-2
③ 地球の水	6-4
④ 地球の大気	6-6
⑤ 地球と生命の歴史	6-7
⑥ 生物多様性	6-8
⑦ 沖縄の季節	6-10
⑧ 沖縄の土	6-13
⑨ 沖縄の水	6-17
⑩ 沖縄の森や林	6-22
⑪ サンゴとサンゴ礁	6-24
⑫ 琉球の生き物たち	6-27
⑬ 鹿の形	6-28
⑭ 沖縄の基地	6-31
⑮ 歌謡のなかの自然	6-33
⑯ サトウキビ（ワージ）	6-35
⑰ エコロジカル・フットプリント	6-37
⑱ 仮想水（バーチャル・ウォーター）	6-39
⑲ フード・マイレージ（食料の総輸入量・距離）	6-41
⑳ 食料自給率	6-42
㉑ リサイクル	6-44
㉒ フェアトレード（公正貿易）	6-48
㉓ 車社会	6-50
㉔ 地球温暖化	6-53
㉕ 環境保全に関連した法律など	6-58
<b>4 環境教育情報コーナー</b>	
(1) サポーターガイドコーナー	7-1
(2) 環境教育情報（インターネット）	7-14
(3) 安全のために～野外での注意～	7-16
(4) 参考引用資料・文献	7-18
(5) 報告をお願いします	7-20
(6) 環境教育プログラム（高等学校・環境団体編）検討委員会	7-22

# プログラムの活用方法

## プログラムの活用場面

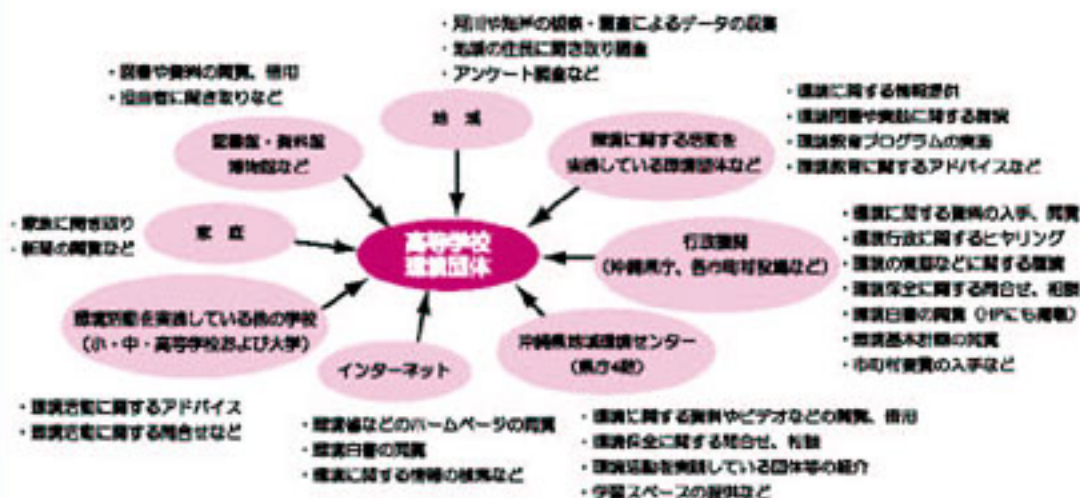
本プログラムの活用場面として、高等学校では、総合学習や授業で環境教育を取り組むのは難しいという現状から、主として学園祭などのイベント、課外活動、生徒会活動などでの実施を想定しているが、自由な発想で各教科の授業時間に取り込むことは可能である（「教科別対応表」【p9】参照）。

また、高校生が地域や環境団体などと連携して、地域との交流会、イベントや講習会などの地域活動を実施する際に活用、あるいは生涯学習の講座などでの活用も想定している。主な活用場面は以下のとおりである。

- ・学園祭・文化祭
- ・生徒会活動・課外活動
- ・地域のイベントや講習会
- ・高校生グリーンデー
- ・総合的な学習の時間・授業時間
- ・生涯学習の講座
- ・ボランティア活動
- ・地域交流会
- など

## 情報収集の場面および方法

本プログラムを実施、あるいは環境教育・環境学習を実践しようとする際、必要な情報の種類、収集場面やその方法は様々である。実践する内容や目的などに応じて多くの情報を得てほしい。



## 情報発信・成果発表の場面および方法

環境教育・環境学習の実践後は、様々な方法で情報発信をしよう。「環境」というテーマは扱う領域が広いので、情報発信の場面は幅広い、多くの人に実践の状況を知らせ、活動の裾を広げよう。





## 本プログラムのシリーズを活用しよう！



▲沖縄県環境教育プログラム  
(小学校編)

本プログラムのシリーズとして、小学校編、中学校編が既に発行されており、高等学校・環境団体編の内容に関連するアクティビティも掲載されている。本プログラムの各アクティビティ・フローのページの「アクティビティ参考資料」の欄に関連タイトルが記載されているので参照しよう。また、小学生から大人まで、地域の自然の調査・研究もできる内容が掲載されているので学校以外の場面でも活用しよう。



▲沖縄県環境教育プログラム  
(中学校編)

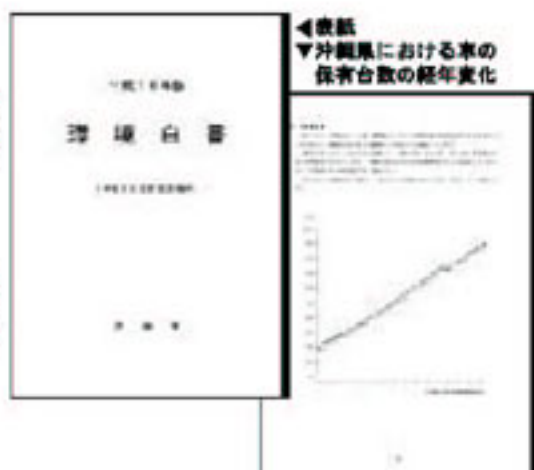
▲沖縄県環境教育プログラム 沖縄県のホームページで閲覧できる（印刷可）。

ホームページ <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=68>（沖縄県文化環境部環境政策課）

## 環境白書を活用しよう！

沖縄県文化環境部環境政策課で毎年発行している沖縄県の「環境白書」は、大気や水質（河川・海域）、騒音・振動などの観測データ、悪臭、赤土対策、基地公営の現況、廃棄物、自然保護や環境保全に関する施策などの内容が、網羅的に掲載されている“沖縄の環境”が分かる資料。観測データは過去からの経年変化が掲載されているので、環境の変化を見ることが出来る。

沖縄県のホームページで閲覧しよう（印刷可）。



ホームページ <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=68>（沖縄県文化環境部環境政策課）

## 沖縄県地域環境センターを活用しよう！



貸出し図書

県民の環境への取り組みをサポートしている機関。環境に関する図書、資料、ビデオ、パネルなどをそろえており、閲覧や貸出を行っている（図書・雑誌は約900冊、ビデオは約200本）。また、各種パンフレットの配布や本県の環境状況、環境保全に関する問い合わせ、相談などにも応じ、環境活動を行っている団体や人物の紹介も行っている。センター内に学習スペースを設けており、総合学習や勉強会の場としても利用できる。本プログラムの事前学習や情報収集の場として活用しよう（沖縄県庁4階 環境政策課内）。

ホームページ <http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=68>（沖縄県文化環境部環境政策課）



## プログラムの構成

本プログラムの構成を以下に示す。

### 1 はじめに

本プログラムを活用するにあたって、導入部となる環境教育・環境学習の重要性や本プログラムの目的、活用方法や構成などを述べている。

### 2 環境教育プログラムアクティビティ

#### 2-1 プログラムを大きく4つのジャンルに分け、それぞれにアクティビティを収録している。

##### ア 地球環境保全（地球温暖化対策、オゾン層保護・大気汚染対策）

大気環境に関連したアクティビティを収録している。地球温暖化や大気汚染、オゾン層破壊などは、目には見えないが確実に私たちの暮らしや健康をおびやかす原因となっている。これらの問題と私たちの普段の何気ない行動や習慣が密接につながっていることに気づき、まずは身近なところからアクションを起こすきっかけとなるような流れで組み立てられている。

##### イ 水質保全（河川水質保全・赤土等流出対策、地下水保全）

水環境に関連したアクティビティを収録している。沖縄では家庭排水などによる河川の汚染、赤土流出による海の汚染、さらに地下水汚染や湧水問題など、水に関する問題は重要である。身近な水環境が汚染されている実態に気づき、水の使い方、排出の仕方を考えるきっかけとなるような流れで組み立てられている。

##### ウ 自然保護（生物多様性、サンゴ礁保全）

自然環境に関連したアクティビティを収録している。沖縄県は固有種の多さや生物種の多様さなど世界に誇る自然環境を持つ。その一方で、自然環境の消失や汚染、外来種や乱獲などによって多くの希少な生きものが存続の危機にある。沖縄の自然環境の豊かさと現状を知り、互いに共存できる方法を考えるきっかけとなるような流れで組み立てられている。

##### エ 廃棄物対策（燃焼ごみ、ゼロエミッション）

ごみに関連したアクティビティを収録している。ごみ問題は全国的なものだが、特に島しょ県沖縄では切実な問題で、最終処分場の不足によるごみ処理状況のひっ迫だけでなく、不法投棄や焼却にともなう環境汚染など様々な問題をきんでいる。ごみについて考え、ごみを減らし、ごみにしないための行動をとるきっかけとなるような流れで組み立てられている。

##### オ 自由な発想で環境を研究

環境全般に関連したテーマを収録している。「環境」という概念は幅広く、とらえ方によって様々な研究テーマが見つかる。その中でも特に取り上げてほしいテーマ6つを例にあげ、自由な発想で研究や調査を始めるきっかけとなるような内容で組み立てられている。

#### 2-2 各アクティビティは全10ページで構成されており、以下のような内容、流れとなっている。

##### ア 表紙（1ページ）

問いかけから問題を提起し、興味や関心をひきつける。

##### イ ねらい、アクティビティ・フロー、参考資料（2ページ）

アクティビティのねらいと各項目のタイトル及びフローを示し、全体の流れを把握する。

##### ウ アクティビティ本文（3～9ページ）

アクティビティの中で体験→調べ→考え→学び→発展と展開する過程で、楽しみながら環境問題への関心や意欲を高める。

##### エ 課題発展・参考事例（10ページ）

課題・発展のテーマやものづくりの例、関連活動の参考事例、地球規模の環境問題事例を示し、アクティビティの内容だけでなくとらわれない総合的、多面的な視点で環境問題への洞察を深める。

### 3 タウンページ（中学校編の再録）

アクティビティのより効果的な活用を目的とした環境に関する様々な情報を掲載している。

### 4 環境教育情報コーナー

「サポーターガイドコーナー」「環境教育情報」「安全のために」「参考引用資料・文献」それぞれの中で本プログラムを実施する、あるいは環境教育・環境学習を実施する際に参考となるような情報を掲載している。また、「報告をお願いします」では、本プログラムを実践に活用した際、実施内容や感想、改善点などの報告様式を掲載している。



## 教科別対応表

下に示す表は、本プログラムに掲載されている全9アクティビティ（最後の「自由な発想で環境を研究」を除く）の各7テーマごとに、対応する教科ならびに生涯学習の枠内に●をつけたものである。本表は、次頁の「教科別索引」で示した内容をもとに、関連が深いと考えられるアクティビティのテーマを選んだ。本プログラムを教科別で実施する際の参考にしてほしい。

	国語	数学	理科	道徳歴史	公民	外国語	保健体育	家庭	芸術	情報	特別活動	生涯学習
1. カレーをつくろう！ ～キッチンから見える地球環境保全～	①		●	●	●			●			●	●
	②		●	●	●			●			●	
	③	●	●		●		●			●		
	④	●	●	●	●		●			●		
	⑤	●	●	●	●	●			●		●	
	⑥	●	●	●	●	●					●	●
	⑦	●	●	●	●	●					●	●
2. ～地球環境を保護する～ 空気を調べよう！	①		●	●		●			●	●	●	●
	②	●	●	●						●		
	③	●	●	●	●	●				●		
	④	●	●	●	●	●	●	●		●		
	⑤	●	●	●	●	●			●			
	⑥	●	●	●	●	●					●	●
	⑦	●	●	●	●	●					●	●
3. 学校版環境ISOに チャレンジしよう！	①	●	●	●	●	●		●			●	●
	②	●	●	●	●	●		●			●	●
	③	●	●	●	●	●		●			●	●
	④	●	●	●	●	●		●			●	●
	⑤	●	●	●	●	●		●			●	●
	⑥	●	●	●	●	●		●			●	●
	⑦	●	●	●	●	●		●			●	●
4. 沖縄の川が、濁が立っている！ ～河川環境と生活排水・畜土流出～	①		●	●				●			●	●
	②		●	●				●			●	●
	③	●	●	●	●	●				●	●	●
	④	●	●	●	●	●	●			●	●	●
	⑤	●	●	●	●	●			●		●	●
	⑥	●	●	●	●	●					●	●
	⑦	●	●	●	●	●					●	●
5. 私たちが案内する 湧水・井筒めぐりツアー	①	●		●	●	●			●	●	●	●
	②	●		●	●	●			●	●	●	●
	③	●	●	●	●	●			●	●	●	●
	④	●		●	●	●			●	●	●	●
	⑤	●		●	●	●			●	●	●	●
	⑥	●		●	●	●			●	●	●	●
	⑦	●		●	●	●			●	●	●	●
6. 小さな島の生きもの会議 ～やんばるの森で～	①	●		●	●	●		●		●	●	●
	②	●		●	●	●		●		●	●	●
	③	●	●	●	●	●		●		●	●	●
	④	●		●	●	●		●		●	●	●
	⑤	●		●	●	●		●		●	●	●
	⑥	●		●	●	●		●		●	●	●
	⑦	●		●	●	●		●		●	●	●
7. 沖縄はサンゴの島 サンゴ～絶滅で不安な生きもの～	①	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	②	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	③	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	④	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	⑤	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	⑥	●		●	●	●		●	●	●	●	●
	⑦	●		●	●	●		●	●	●	●	●
8. 地域クリーンアップ作戦 ～仲間 異地をグリーンデーで活動しよう～	①	●		●	●	●				●	●	●
	②	●		●	●	●				●	●	●
	③	●	●	●	●	●				●	●	●
	④	●	●	●	●	●				●	●	●
	⑤	●	●	●	●	●				●	●	●
	⑥	●	●	●	●	●				●	●	●
	⑦	●	●	●	●	●				●	●	●
9. やってみよう！ エコロジー学習祭	①	●		●	●	●		●		●	●	●
	②	●		●	●	●		●		●	●	●
	③	●		●	●	●		●		●	●	●
	④	●	●	●	●	●		●		●	●	●
	⑤	●	●	●	●	●		●		●	●	●
	⑥	●	●	●	●	●		●		●	●	●
	⑦	●	●	●	●	●		●		●	●	●



## 教科別索引

ここでは「高等学校学習指導要領（平成11年版）」における目標及び内容の中から、本プログラムを活用することによって得ることが期待される能力を抜粋し、各教科から該当する内容を検索する際の参考となるようにしてある。ただし、ここに記載されている内容が全てではないので、記載されてなくとも様々な教科や場面で活用することは可能である。

「環境」というテーマは扱う領域が広く、ほぼ全ての教科にまたがる分野となっている。また、本プログラムは「自主的に、楽しみながら、身近な体験を通して、総合的、多面的に取り組む」内容を目指している。これらのことから柔軟な発想で幅広い場面において取り組んでいただきたい。

## ■ 国

## 【目標】

「適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することにより、社会生活を充実させる態度を養う」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 自分の考えを持って論理的に意見を述べたり、相手の考えを尊重して話し合う
- 情報を収集、整理し、正確かつ簡潔に伝える文章にまとめる
- 目的や場に応じて言葉遣いや文体など表現を工夫して話したり書いたりする

## ■ 数 学

## 【目標】

「数学と人間との関わりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解させ、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、数学を活用する態度を育てる」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 社会生活において数学が活用されている場面や身近な事象を数理的に考察することを通して、数学の有用性などを知り、数学的な見方や考え方を豊かにする
- 目的に応じて資料を収集し、それを表やグラフなどを用いて整理するとともに、資料の傾向を代表値を用いてとらえるなど、統計の考えを理解し、それを活用できるようにする

## ■ 理 科

## 【目標】

「自然に対する関心や探究心を高め、観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事象・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 蓄積型の化石燃料と原子力及び水力、太陽エネルギーなどの特性や有様性及びその利用などについて理解させる
- 水や大気汚染、地球温暖化、生物の多様性などを取り上げ、生物と環境との関わり、地球環境保全の重要性を扱う

## ■ 地理歴史

## 【目標】

「我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 原子力の利用、情報科学、宇宙科学の出現など現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究させ、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察させるとともに、国際的な交流と協力の必要性に気付かせる
- 現代の科学技術の人類への寄与と課題を追究させ、人類の生存と環境、世界の平和と安全などについて考察させる
- 環境、資源、エネルギー問題などを地球的及び地域的視野から追究する



**公民**

## 【目標】

「広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方や生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解させるとともに個人と企業の経済活動における社会的責任について考えさせる
- 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、世界の様々な文化の理解、人類の福祉のそれぞれにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて追求させ、現代に生きる人間としての在り方や生き方について自覚を深めさせる
- 大きな政府と小さな政府、少子高齢社会と社会保障、住民生活と地方自治、情報化の進展と市民生活、労使関係と労働市場、産業構造の変化と中小企業、消費者問題と消費者保護、公害防止と環境保全、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて考察させる

**外国語**

## 【目標】

「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 英語を聞いてその内容を理解するとともに場面や目的に応じて適切に反応する
- 関心のあることについて相手に質問したり、質問に答えたりする
- 情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える
- 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめて発表する

**保健体育**

## 【目標】

「心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生理にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 社会生活における健康の保持増進には、環境などが深く関わっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする

**家庭**

## 【目標】

「人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の恵福、家族・家庭と社会との関わりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 現代の消費生活と環境との関わりについて理解させ、環境負荷の少ない生活を目指して生活意識や生活様式を見直すことができるようにする

**芸術**

## 【目標】

「芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の誌能力を伸ばし、豊かな情操を養う」

## 【学習指導要領 内容抜粋】

- 音楽と社会及び文化との関わりを理解させる

- 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす

## 情報

### 【目標】

「情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる」

### 【学習指導要領 内容抜粋】

- 情報通信ネットワークやデータベースなどの活用を通して、必要とする情報を効率的に検索・収集する方法を習得させる

## 特別活動

### 【目標】

「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方や生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を養う」

### ■ホームルーム活動

「学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルームや学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと」

### 【学習指導要領 内容抜粋】

- ホームルームや学校の生活の充実と向上に関すること
- 個人及び社会の一員としての在り方生き方、健康や安全に関すること
- 自己及び他者の個性の理解と尊重、社会生活における役割の自覚と自己責任、男女相互の理解と協力、コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解、国際理解と国際交流など

### ■生徒会活動

「学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力に関する活動、ボランティア活動などを行うこと」

### ■学校行事

### 【学習指導要領 内容抜粋】

- 学芸的行事  
平素の学習活動の成果を総合的に活かし、その向上の意欲を一層高めるような活動を行うこと
- 勤労生産・奉仕的行事  
勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行うこと

## 生涯学習

### 【目標】

「一人一人が自らの意志に基づき、自分に適した手段・方法で、生涯を通じて学習する意欲と態度を養い、自己の充実・啓発や生活の向上、職業上の能力の向上を図る」

### 【内容】

- 生涯学習情報の提供及び学習相談体制の整備充実
- 住民の学習に対する需要の把握及び学習プログラムの開発
- 生涯学習のための指導者・助言者の養成・研修
- 生涯学習の成果に対する評価、活用
- 地域の実情に応じた講座の実施